

資料 しんばいそせい 心肺蘇生法の手順*
しんばいそせい 心肺蘇生法の手順を確認しましょう。

- …… 観察
- …… 手当



傷病者の発生

- 周囲の安全を確認して傷病者の近くに行く。



反応をみる

- 肩を軽くたたいて、大声で呼びかけてみる。

反応なし

- 大声で叫び、応援を呼ぶ。
- 119番通報をし、通信指令員の指導に従う。
- AEDを手配する。

ほかの人にいたら、分担する。

呼吸をみる

- 胸部や腹部の動きはあるか。
- ※1 胸骨圧迫の開始を遅らせないよう、確認に10秒以上かけない。
- ※2 しゃくり上げるような不規則な呼吸を、死戦期呼吸という。ふだん通りの呼吸が死戦期呼吸かなど、分からないときは、胸骨圧迫を開始する。

ふだん通りの呼吸あり

様子を見ながら、応援・救急隊を待つ。

待つ間は、傷病者を回復体位にする。呼吸が認められなくなったら、直ちに胸骨圧迫を開始する。

呼吸なしまたは死戦期呼吸



しんばいそせい 心肺蘇生 直ちに胸骨圧迫を開始する。

| | | |
|---------------------------------------|-------------|--------------|
| 強く | 速く | 絶え間なく |
| 成人は約 5 cm, 小児は胸の厚さの約 $\frac{1}{3}$ | 100~120 回/分 | 中断を最小限にする。 |



人工呼吸の技術と意思があれば気道を確認し、「胸骨圧迫30回 + 人工呼吸 2回」を繰り返す。

リンク

- P.81~82 | 心肺蘇生の方法
- P.83 | AED(自動体外式除細動器)

エーディーエー AEDの電源を入れ、音声メッセージに従う。

- 以下のいずれかに該当するまで、心肺蘇生とAEDを続ける。
- 救急隊員に引き継ぐ。
- 傷病者が呼吸や目的のあるしぐさを始める。

電気ショック1回、その後、直ちに胸骨圧迫から再開

心電図解析 電気ショックは必要か

直ちに胸骨圧迫から再開

*心肺蘇生法は、現在もより良い方法が研究されているため、改訂されることがある。

救急隊による搬送と応急処置

医療機関による治療